

◇◇◇ 一期生の集い ◇◇◇

10月12日、50周年記念式典前日に「一期生の集い」が懐かしの東天閣で開催されました。参加人数は29人でした。中には実に44年ぶり、卒業以来の再会もあり、大いに盛り上りました。当日の東天閣のサービス担当の方の中には、当時、我々が狼藉を働いた頃からではと思わせるおばあ様もいらっしゃって、不手際の多々ある幹事（丸山）にやさしく救いの手を差し伸べていただきました。感謝、感謝です。東天閣様ありがとうございます。

長い間、会わなかつたため、「あなた誰？」などとすることもあったようですが、私は皆様の顔はすぐ判りました。本當です。幹事なので当然ですが。会が進行し、話が進むと全員が学生当時にタイムスリップした様に「～～先生」という呼び方から、学生時代の呼び方に戻っていました。会の進行とともに、感じたことは、全員、本質は昔と全く変わっておらず、卒後40年余りが経過しましたが、長かったようで、短い年月であったなとしみじみ感じました。近況報告では、それぞれ、～病を患いました、～を切除しました、もう酒を飲んだら死にます、などの話が次々に出ては来ましたが、なんの、なんの、皆様お元気でした。何しろ、幹事の私、皆様はアラ70なのだから2次会は行かないだろうと踏んでいたのですが、会が終了し、記念撮影も済むと、「丸山あ、2次会はどこだ？」の叫び声が。「げっ、に2次会ですか？」「何っ？用意してない？」とダメ出しの声。幹事はつらい。特にこのメンバーでは。結局、店はどこもその様な人数を受け入れられず、三々五々の散会になってしまいました。ごめんなさい。その後、お元気爺さん達は西橋あたりに繰り出した様です。街に出てみたらそこら中で他学年の同窓生に出くわし、さながら同窓会ナイトの様だった、らしいです。私は前日に昔の生理学教室のメンバーとこたま痛飲したために、ヘロヘロでしたため一次会で帰りました。

「楽しかったー」という声が多数あり「丸山っ、5年とは言わず、再来年くらいにもまた企画せいい！」と迫られ、近い内にまた企画することになりました。はい、また企画します。でも、幹事はねー？この面々でねー、ということで松崎氏、桑原氏に手伝ってもらおうかな。

[文責：丸山 眞杉 1期生代議員]

